

浸水をいち早く把握！ ワンコイン浸水センサ実証実験に参加します

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国（国土交通省）や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、センサの特性や情報共有の有効性等を検証する実証実験を行っています。

この度、令和6年度の本実証実験に豊橋市が参画する運びとなりましたので、お知らせします。

背景及び参加目的

現状は浸水確認のための道路パトロール及び市民等からの通報を受けて浸水の発生を把握しているため、通行止め等の対応に時間が掛かっています。浸水の状況を迅速に把握し、道路通行者の安全を確保するため、国土交通省にて公募されている「ワンコイン浸水センサ実証実験（別紙1）」に応募し、採択されました。

（令和6年度1次公募で76自治体を実施、愛知県では豊橋市・豊川市・東海市・清洲市が参画）

現状



+

浸水センサ設置



浸水センサ及び設置方法

ワンコイン浸水センサ：小型、低コストかつ長寿命の浸水センサで、1個500円程度に抑えることを目指している。筐体底部が一定時間水に浸かると電波が発信され浸水を把握できる。

設置方法：防護柵等に設置予定

設置箇所

過去に浸水した実績がある市内11箇所（13基）に6月上旬より設置予定（別紙2）

設置効果

浸水センサを活用することで、浸水発生をリアルタイムに把握し道路の通行止めを迅速に行い、道路利用者の安全確保を行う。

※センサ設置の際には取材していただくことができます。取材を希望される方は、ご連絡ください。



ワンコイン浸水センサ設置例

問合せ先 建設部 道路維持課 課長補佐 上杉（電話 51-2631）